



DIGITAL KEYBOARD

PSR-E360

ご使用前に必ず4ページの「安全上のご注意」をお読みください。

取扱説明書

準

備

本

編

資

料

JA

このたびは、ヤマハ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この楽器は、優れた機能を搭載し、かつ、生活空間に溶け込むようデザインされた電子キーボードです。

この楽器に搭載された機能を十分に活かし、演奏をお楽しみいただくため、本書をよくお読みになってからご使用ください。

また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管していただきますようお願いいたします。

取扱説明書について

この楽器には、以下の説明書が用意されています。

■冊子マニュアル



取扱説明書(本書)

- **準備:** 最初にお読みください。
- **本編:** この楽器の機能や使い方を説明しています。
- **資料:** 仕様や楽器リストなどの資料を掲載しています。

■電子マニュアル



ドラムキットリスト

- ドラムキットボイス(15ページ)を選んだときに、各鍵盤に割り当てられる打楽器等の一覧です。

上記のマニュアルは、ヤマハの下記ウェブサイトからご覧いただけます。

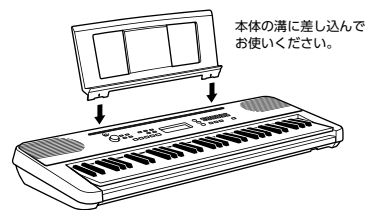
サポート・お問い合わせ

<https://jp.yamaha.com/support>

付属品(お確かめください)

- 取扱説明書(本書)×1
- ソングブック×1
- 電源アダプター×1
- 譜面立て×1
- 保証書×1
- 製品登録のご案内×1

譜面立ての取り付け方



もくじ



取扱説明書について	2
付属品(お確かめください)	2
譜面立ての取り付け方	2

準備

各部の名称	10
-------	----

ご使用前の準備	12
---------	----

電源の準備	12
電源を入れる/切る	13
オートパワーオフ機能	13

画面表示と基本操作	14
-----------	----

画面表示	14
基本操作	14

本編

いろいろなボイス(楽器音)で弾く	15
------------------	----

ボイス(楽器音)を選ぶ	15
グランドピアノの音で弾く	15
メトロノームを使う	15
音に余韻を付ける(パネルサステイン)	16
鍵盤のタッチレスポンスを変更する	16
より広がりのある音で演奏する(ウルトラワイドステレオ)	16
演奏音に効果をかける(エフェクト)	16

二人で一緒に弾く(デュオ)	17
---------------	----

ソングを再生する	19
----------	----

デモソングを聞く	19
ソングを1曲選んで聞く	19
BGMとして連続再生する	19
ソングを早送り、早戻し、一時停止する	20
再生テンポを変える	20
ソングの一部をくり返して聞く(A-Bリピート)	20
内蔵ソングのメロディー音色を変更する	21
各パートをオン/オフする	21

ソングを選んでレッスンする	22
---------------	----

レッスン紹介	22
レッスンをやってみよう	22

コードの響きを体感する(コードスタディ)	24
----------------------	----

コードをひとつずつ体感する	24
コード進行を体感する	24

リズムや自動伴奏に合わせて弾く(スタイル)	25
-----------------------	----

スタイルに変化を付ける	26
スタイル再生用のコードの押さえ方	27

手弾きのフレーズを録音する(フレーズ録音)	28
-----------------------	----

マスター EQを設定してお好みの音にする	29
----------------------	----

他の機器を接続する	30
-----------	----

外部機器の音をこの楽器で鳴らす	30
別売のヘッドホン/外部スピーカーを使う	30
ペダルを使う(サステイン)	31

バックアップと初期化	31
------------	----

バックアップデータ	31
初期化	31

機能設定	32
------	----

資料

困ったときは	34
ボイスリスト	35
ソングリスト	38
スタイルリスト	39
エフェクトタイプリスト	40
仕様	41
索引	42

準

備

本

編

資

料

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。
お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



注意喚起を示す記号



禁止を示す記号



行為を指示する記号

■ 「警告」「注意」「注記」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

注記

「故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。

電源アダプターについて

警告



禁止

ヤマハ製電子楽器以外に使用しない。

電源アダプターは、ヤマハ製電子楽器専用です。他の用途には、ご使用にならないでください。故障、発熱、火災などの原因になります。



禁止

電源アダプターは、室内専用のため屋外および水滴のかかる環境では、使用しない。また、水の入った物、花瓶などを機器の上に置かない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。

注意



必ず実行

製品は電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに製品の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

楽器本体について

警告

電源 / 電源アダプター



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。

エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源アダプターは、必ず指定のもの(41ページ)を使用する。異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

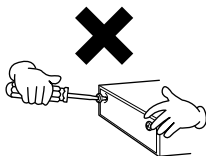
分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。



水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本体の上ろうそくなど火気のあるものを置かない。
ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

電池



禁止

電池を分解しない。

電池の中のものに触れたり目に入ったりすると、化学やけどや失明のおそれがあります。



禁止

電池を火の中に入れない。

破裂するおそれがあります。



禁止

使い切りタイプの電池は、充電しない。

充電すると液漏れや破裂の原因になります。



禁止

電池を金属製のネックレスやヘアピン、コイン、鍵などと一緒に持ち運んだり、保管しない。

電池がショートし、発熱、破裂、火災のおそれがあります。



禁止

指定(41ページ)以外の電池を使用しない。

火災、発熱、液漏れの原因になります。



必ず実行

複数の電池を使う場合、同じメーカーの同じ種類、同じ品番の新しい電池を使用する。

種類やメーカー、品番の異なる電池を一緒に使用したり、新しい電池と古い電池を一緒に使うと、火災、発熱、液漏れの原因になります。



必ず実行

電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れる。

正しく入れていない場合、発熱、火災、液漏れのおそれがあります。



長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池を本体から抜いておく。

電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

必ず実行



充電式ニッケル水素電池を使用する場合は、電池の取扱説明書の指示に従う。

電池に付属の取扱説明書をよく読んで、正しくご使用ください。また、充電電池の充電は、必ず専用の充電器をご使用ください。専用器以外を使用すると、電池が発熱、液漏れ、破裂するおそれがあります。

必ず実行



電池は子供の手の届くところに置かない。

お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。

禁止



電池が液漏れた場合は、漏れた液に触れない。

失明や化学やけどなどのおそれがあります。万一液が目や口に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

禁止

異常に気づいたら



電源プラグを抜く

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。(電池を使用している場合は、電池を本体から抜く。)

- ・電源コード/プラグがいたんだ場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合
- ・製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

⚠️ 注意

電源 / 電源アダプター



たこ足配線をしない。

音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。

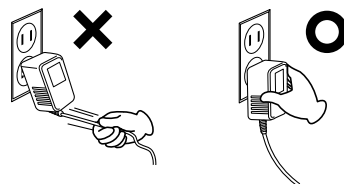
禁止



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

必ず実行



電源プラグを抜く

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電や火災、故障の原因になることがあります。

設置



不安定な場所に置かない。

本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がかげをしったりする原因になります。

禁止



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。
コードをいためたり、お客様やほかの方が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この製品を電源コンセントの近くに設置する。
電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



必ず実行

指定のスタンドを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。
本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

接続



必ず実行

すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。
感電、聴覚障害または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。
聴覚障害または機器の損傷の原因になります。

取り扱い



禁止

本体のすき間に手や指を入れない。
お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

パネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。
感電、ショート、火災、故障や動作不良の原因になることがあります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損したり、お客様やほかの方がけがをしったりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間使用しない。
聴覚障害の原因になります。特にヘッドホンを使用する場合はご注意ください。万一、聴力低下や耳障りを感じた場合は、専門の医師にご相談ください。



- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

[⏻] (スタンバイ / オン) スイッチを切った状態 (画面表示が消えている) でも微電流が流れています。[⏻] (スタンバイ / オン) スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用済みの電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

この製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(bottom_ja_02)

注記(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■ 製品の取り扱いに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。
- スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスのアプリと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためスマートデバイスの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
- 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多い場所で使用しないでください。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります(5℃～40℃の範囲で動作することを確認しています)。
- 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。
- 本製品に搭載されている液晶画面は精密部品です。指で押すなど、力を加えないようご注意ください。なお、指で押すことにより画面表示が乱れることがありますが、しばらくすれば元に戻ります。

■ 製品のお手入れに関する注意

- 手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。

■ データの保存に関する注意

- この楽器の一部のデータ(31ページ)は自動的に保存され、電源を切っても消えませんが、ただし保存されたデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。

お知らせ

■ データの著作権に関するお願い

- ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- この製品に内蔵または同梱されたコンテンツは、ヤマハ(株)が著作権を有する、またはヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物です。製品に内蔵または同梱されたコンテンツそのものを取り出し、もしくは酷似した形態で記録/録音して配布することについては、著作権法等に基づき、許されていません。
 - ※ 上記コンテンツとは、コンピュータープログラム、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどを含みます。
 - ※ 上記コンテンツを使用して音楽制作や演奏を行ない、それらを録音や配布することについては、ヤマハ(株)の許諾は必要ありません。

■ 製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

- 内蔵曲は、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。

■ 製品の外観について

- 製品に線やキズが入っているように見える場合があります。これはケースを成型する際に現れる線(ウエルドライン)であり、ヒビやキズではありません。製品の使用上まったく問題ありません。

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

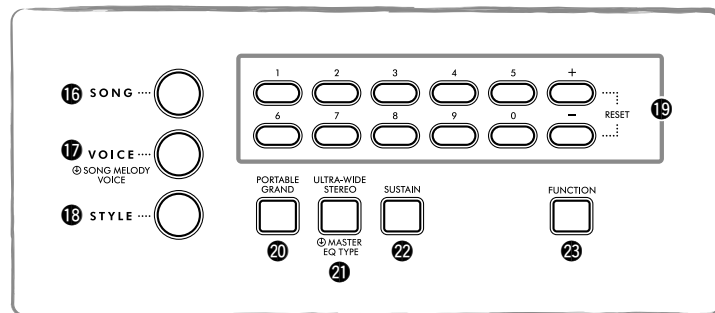
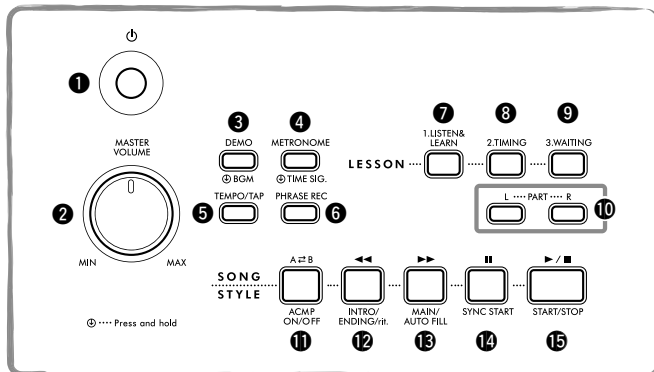
- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- 本製品の品番末尾のアルファベット(「DW」「MA」など)は、外装の色の情報を表わしています。この取扱説明書では、品番末尾のアルファベットを省略しています。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

各部の名称

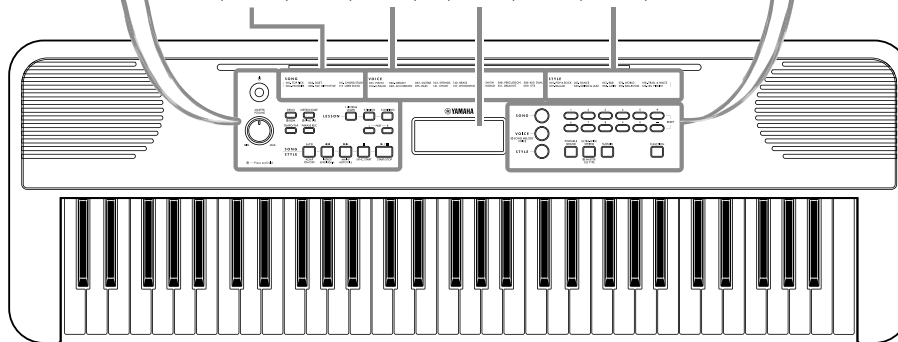



準備

● フロントパネル



ソングリスト (38ページ) 楽器リスト (35ページ) 画面 (14ページ) スタイルリスト (39ページ)



① [] (スタンバイ/オン) スイッチ 13 ページ
② [MASTER VOLUME] ダイアル 13 ページ
③ [DEMO] ボタン 19 ページ
④ [METRONOME] ボタン 15 ページ
⑤ [TEMPO/TAP] ボタン 20 ページ
⑥ [PHRASE REC] (フレーズ録音) ボタン 28 ページ
⑦ [1.LISTEN & LEARN] ボタン 22 ページ
⑧ [2.TIMING] ボタン 22 ページ
⑨ [3.WAITING] ボタン 22 ページ
⑩ PART (パート)
[L] (左手) ボタン 21 ページ
[R] (右手) ボタン 21 ページ

SONG(ソング)モードのとき


⑪ [A ⇄ B] (A-Bリピート) ボタン 20 ページ
⑫ [◀◀] (早戻し) ボタン 20 ページ
⑬ [▶▶] (早送り) ボタン 20 ページ
⑭ [] (一時停止) ボタン 20 ページ
⑮ [▶/■] (スタート/ストップ) ボタン 19 ページ

STYLE(スタイル)モードのとき

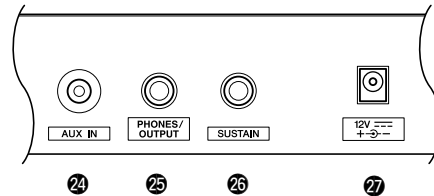
① [ACMP ON/OFF] ボタン 25 ページ
② [INTRO/ENDING/rit.] ボタン 26 ページ
③ [MAIN/AUTO FILL] ボタン 26 ページ
④ [SYNC START] ボタン 25 ページ
⑤ [START/STOP] ボタン 25 ページ

⑯ ^{ソング} [SONG] ボタン 19 ページ
⑰ ^{ボイス} [VOICE] ボタン 15 ページ
⑱ ^{スタイル} [STYLE] ボタン 25 ページ
⑲ 数字ボタン [0] ~ [9]、[+]、[-] 14 ページ
⑳ ^{ポータブルグランド} [PORTABLE GRAND] ボタン 15 ページ
㉑ ^{ウルトラワイドステレオ} [ULTRA-WIDE STEREO] ボタン 16 ページ
㉒ ^{サステイン} [SUSTAIN] ボタン 16 ページ
㉓ ^{ファンクション} [FUNCTION] ボタン 32 ページ

ボタンを「長く押す」マークについて

 このマークの付いたボタンを1秒以上押し続けると、そこに書かれた別機能に移ります。

● リアパネル



㉔ ^{エーユーエックスイン} [AUX IN] 端子 30 ページ
㉕ ^{フォーンズ/アウトプット} [PHONES/OUTPUT] 端子 30 ページ
㉖ ^{サステイン} [SUSTAIN] 端子 31 ページ
㉗ ^{ディーシーイン} DC IN 端子 12 ページ

ご使用前の準備

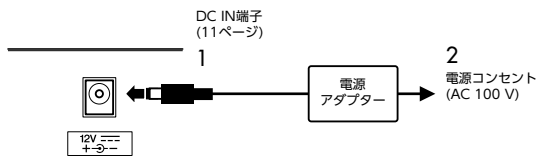


電源の準備

この楽器の電源には、電源アダプターか電池を使用できますが、環境に配慮して、電源アダプターのご使用をおすすめします。

● 電源アダプターを使うときは

図の順序で電源アダプターを接続します。



⚠ 警告

- 電源アダプターは、必ず指定のもの(41ページ)をご使用ください。異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねることがございますので、十分ご注意ください。

⚠ 注意

- 本体はコンセントの近くに設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

NOTE

- 電源アダプターを外すときは、電源を切ってから、逆の手順で行なってください。

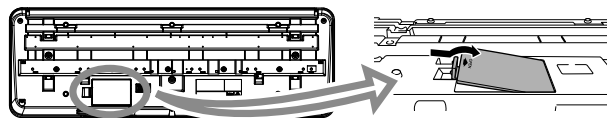
● 電池を使うときは

この楽器では、単3形のアルカリ乾電池、マンガン乾電池、および充電式ニッケル水素電池(充電電池)を使用できますが、使い方により大きな電力を消費する場合がありますので、アルカリ乾電池または充電電池のご使用をおすすめします。

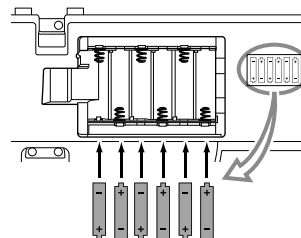
⚠ 警告

- 長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池を本体から抜いておく。

- 1 電源が切れていることを確認してください。
- 2 本体を柔らかい布などの上で裏返し、電池カバーを外します。



- 3 電池6本を入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。



- 4 電池カバーを閉めます。

注記

- 電池がセットされ電源が入っているときに、電源アダプターのDCプラグを抜き差ししないでください。電源が一時的に切れて録音中のデータが失われますのでご注意ください。
- お使いの電池の種類に合わせて、本体の設定を切り替えてください(41ページ)。
- 電池は早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音量が小さくなったり、音質が劣化したり、また正常に動かなくなることがあります。このような場合は、すべての乾電池を交換するか、充電電池を充電してください。

NOTE

- 充電電池は、必ず専用の充電器で充電してください。この楽器では、充電できません。
- 電池が本体に入っている状態でも、アダプターを本体に差し込むと、アダプターから電源が供給されます。

電池の種類を設定する

お使いの電池の種類に合わせて、本体の設定(乾電池または充電電池)を切り替えてください。初期設定は、乾電池です。設定は、電源を入れたあと、機能設定(33ページ 機能番号022)で切り替えます。電池の種類を変えるときは、必ず設定してください。

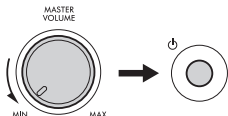
注記



- 電池の種類の設定を間違えると、電池の劣化を早め、使用可能時間が短くなります。正しい設定でお使いください。

電源を入れる/切る

マスターボリューム

- [MASTER VOLUME]ダイヤルを左に回し、音量を最小にします。




- [(スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。
電源が入ると、画面に表示が現れます。鍵盤を弾いて音を出しながら、[MASTER VOLUME]ダイヤルを右に回して、全体音量を調節してください。
- 電源を切るには、もう一度[(スタンバイ/オン)スイッチを押します(1秒)。

注意

- 電源を切った状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。
- 大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になります。


注記

- 電源を入れるときは、[(スタンバイ/オン)スイッチ以外は操作(ペダルを踏むなど)しないでください。楽器が誤動作する原因になります。

オートパワーオフ機能

この楽器は、電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐため、オートパワーオフ機能を搭載しています。これは、本体が一定時間操作されないと自動的に電源が切れる機能です。電源が切れるまでの時間は、初期設定では15分ですが、変更することもできます。

オートパワーオフするまでの時間を変更するには

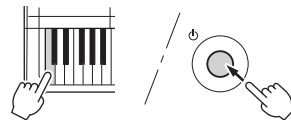
[]ボタンを何度か押して、「AutoOff」(33ページ 機能番号021)を呼び出します。呼び出したら[+]、[-]ボタンを押して、電源が切れるまでの時間を変更します。

設定値：OFF、5/10/15/30/60/120(分)

初期設定：15(分)

オートパワーオフ機能を解除するには

電源を入れるとき、左端の鍵盤を押しながら電源を入れます。オートパワーオフ機能が解除され(画面に「oFF AutoOff」が表示されます)、自動的に電源が切れなくなります。機能設定(33ページ 機能番号021)でオートパワーオフをOFFに設定することでも解除できます。



注記

- 本体の状態によっては、一定時間操作せずにオートパワーオフの設定時間が経過しても電源が切れない場合があります。使用後は、手で本体の電源を切ってください。
- アンプ、スピーカー、コンピューターなどの外部機器を本体に接続した状態で、一定時間本体を操作しない場合は、外部機器損傷を防ぐために取扱説明書の手順に従って外部機器と本体の電源を切ってください。接続した状態で自動的に電源が切れるのを避けたい場合は、オートパワーオフを解除してください。

NOTE

- オートパワーオフ機能で電源が切れた場合、それまでのパネル設定は自動的にバックアップされます。バックアップされる内容については、31ページをご覧ください。

画面表示と基本操作



画面表示

音符表示

通常は押した鍵盤の譜面上の位置が表示されます。レッスン機能のときはソングのメロディーやコードが表示されます。

NOTE

- 1音でもオクターブ上の音が存在する場合は五線譜の上に「8va」が、オクターブ下の音が存在する場合は五線譜の下に「8va」が表示されます。
- 表示の制約により、和音の一部が表示されない場合があります。

SONG、VOICE、STYLE

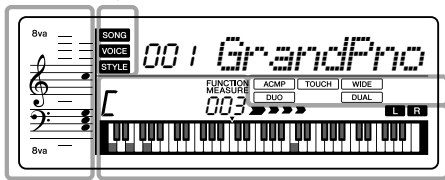
ソング ボイス
[SONG]、[VOICE]、
スタイル
[STYLE] ボタンを押すと表示されます。

SONG
VOICE
STYLE

機能表示

各機能がオンのとき表示されます。

- WIDE ウルトラワイドステレオ (16ページ)
- TOUCH タッチレスポンス (16ページ)
- ACMP スタイル(自動伴奏) (25ページ)
- DUAL 楽器番号 386~400のデュアル音色を選択すると表示されます。
- DUO デュオ (17ページ)



コード表示

スタイルモードのときは自動伴奏領域(25ページ)で押されたコードが、ソングモードのときは再生中のソングデータに含まれるコードが表示されます。

小節(MEASURE)/機能(FUNCTION)表示

通常は、スタイルやソングの小節番号が表示されます。[機能]ボタンで機能設定をしている場合(32ページ)は、機能番号が表示されます。

MEASURE FUNCTION
003 022

鍵盤表示

押した鍵盤の位置が表示されます。レッスン機能のときはソングのメロディーやコードが表示されます。自動伴奏機能使用時は、コードの構成音が表示されます。



ソングトラック表示

ソングトラックに関する情報が表示されます。(21ページ)

L R

- R 点灯：データがあります。
- R 消灯：データがないか、消音されています。

ビート表示

スタイルやソングのビート(拍)が矢印で点滅表示されます。



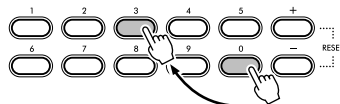
基本操作

この楽器での基本的な操作として、**数字ボタン**や[+]、[-]ボタンを使った項目や数値の変更方を説明します。

数字ボタン[0]~[9]

楽器音などの番号や項目の設定値を、直接数値で入力できます。

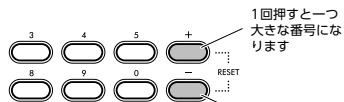
例) [003 プライツピアノ] を選ぶ場合



数字ボタンを[0]、[0]、[3]と押すか、[3]だけを押します

[+]、[-]ボタン

[+]ボタンを1回押すと、一つ大きな番号に、[-]ボタンを1回押すと、一つ小さな番号になります。押し続けると連続して変わります。



1回押すと一つ大きな番号になります

1回押すと一つ小さな番号になります

いろいろなボイス(楽器音)で弾く



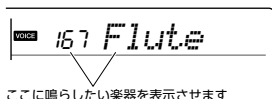
この楽器では、鍵盤の音をピアノ以外の楽器の音に変えられます。

ボイス(楽器音)を選ぶ

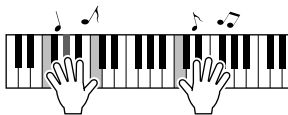
- 1 ^{ボイス} [VOICE] ボタンを押します。
ボイスの番号と名前が表示されます。



- 2 数字ボタンや[+]、[-]ボタンを押して鳴らしたい楽器音を選択します。
ボイスと番号は、35ページのボイスリストをご覧ください。



- 3 鍵盤を弾いてみましょう。



ボイスの特徴

001~320	いろいろな楽器音です。
321~385 (ドラムキット)	いろいろな打楽器音や効果音が鍵盤に割り当てられています。「***キット」という名前のボイス(ボイス番号321~336)を選んだときに鍵盤に割り当てられる楽器等の詳細は、ウェブサイト上のドラムキットリスト(2ページ)をご覧ください。
386~400 (デュアル)	2つの音色が重なった音になります。
000	ワンタッチセッティング スタイルやソング(AUX IN端子から入力したソングは除く)を鳴らしながら鍵盤を弾いて演奏する場合、最適な楽器音を自動的に選択してくれる機能がワンタッチセッティングです。楽器音にボイス番号 [000] を選ぶと、スタイルやソングに最適な楽器音が自動的に選択されます。

グランドピアノの音で弾く

いろいろな設定をリセットし、「とにかくピアノの音で弾きたい」というときは、^{ポータブルグランド} [PORTABLE GRAND] ボタンを押しましょう。
全鍵盤の楽器音が、001グランドピアノになります。



メトロノームを使う

この楽器にはメトロノーム機能があります。ピアノ曲を練習するときなどに使います。

- 1 ^{メトロノーム} [METRONOME] ボタンを押します。
カチカチと鳴ります。



- 2 もう一度ボタンを押すと止まります。

テンポを調節するには

^{テンポ/タップ} [TEMPO/TAP] ボタンを押して、画面にテンポを表示させます。[+]、[-]ボタンを押して、画面でテンポの値を設定します。



数字ボタンを押して直接数値を入力しても、テンポを調節できます。[+]と[-]ボタンを同時に押すと、そのソング/スタイル本来のテンポに戻ります。



拍子を設定するには

[METRONOME] ボタンを1秒以上押して、「TimeSig」(33ページ 機能番号016)を表示させ、[+]、[-]ボタンや数字ボタンを押して拍子を設定します。

メトロノームの音量を設定するには

機能設定(33ページ 機能番号017)で設定します。

音に余韻を付ける(パネルサステイン)

サステイン
[SUSTAIN] ボタンを押してパネルサステインをオンにすると、演奏音に余韻を付けることができます。余韻を付けたくないときは、もう一度[SUSTAIN] ボタンを押してオフにします。



NOTE

- パネルサステインをオンにしても効果がかけられない音色や、意図しない音になる音色があります。
- 別売のフットスイッチを接続すると、フットスイッチでサステインのオン/オフを切り替えられます。詳しくは、「ペダルを使う(サステイン)」(31ページ)をご覧ください。

鍵盤のタッチレスポンスを変更する

鍵盤を弾く強さを変えたときの音の強弱の付き方(タッチレスポンス)を、変更したり固定したりすることができます。(鍵盤自体の重さは変わりません。)

- ファンクション
1 [FUNCTION] ボタンを何度か押してタッチレスポンスの項目「TouchRes」(機能番号006)を表示させます。
「TouchRes」と数秒表示されたあと、現在の設定値が表示されます。



- 2 数字ボタン[1]~[4]や、[+]、[-]ボタンを押して、設定値を選びます。

タッチレスポンス

1	<small>ソフト</small> Soft	弱いタッチで弾いても比較的大きな音が出やすい設定です。指の力の弱い人がしっかり音を出したいときなどに有効です。
2	<small>ミディアム</small> Medium	標準的なタッチです。
3	<small>ハード</small> Hard	より強く弾かないと大きな音が出にくい設定です。繊細なピアノニッシモから迫力のあるフォルティッシモまでダイナミックな表現が必要な演奏に適しています。
4	<small>フィックス</small> Fixed	タッチの強弱にかかわらず一定の音量が出ます。

より広がりのある音で演奏する(ウルトラワイドステレオ)

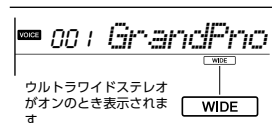
音が楽器のスピーカーの位置よりさらに外側から聞こえ、音の広がりを楽しむことができます。

- ウルトラワイドステレオ
1 [ULTRA-WIDE STEREO] ボタンを押してウルトラワイドステレオをオンにします。



より広がりのある音に変わります。

- 2 もう一度ボタンを押すとウルトラワイドステレオはオフになります。



ウルトラワイドステレオ効果のタイプを選ぶには

ワイド効果のタイプを、機能設定(33ページ 機能番号014)で変更します。

演奏音に効果をかける(エフェクト)

楽器の演奏音に以下のような効果(エフェクト)をかけることができます。

リバーブ

演奏音に、コンサートホールやライブハウスで演奏しているような残響音を加える効果です。リバーブタイプは、スタイル(25ページ)やソング(19ページ)を選択したときに自動的に最適なものが選択されますが、機能設定(33ページ 機能番号010)で変更することもできます。また、リバーブ効果のかかり具合を、機能設定(33ページ 機能番号011)で設定することもできます。

コーラス

演奏音に広がりやうねりを持たせる効果です。コーラスタイプは、スタイル/ソング選択時に自動的に最適なものが選択されますが、機能設定(33ページ 機能番号012)で変更することもできます。また、コーラス効果のかかり具合を、機能設定(33ページ 機能番号009)で設定することもできます。

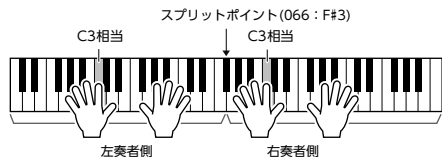
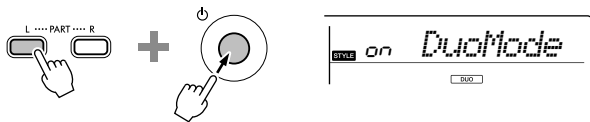
二人で一緒に弾く(デュオ)



鍵盤を左と右に分けて、同時に二人が同じ音域で演奏できます。1台の楽器で二人同時に演奏したり、一人がお手本を弾き、もう一人がそれを見ながら練習したりする、といった使い方ができます。

1 [L] (左手) ボタンを押したまま [⏻] (スタンバイ/オン) スイッチを押して電源を入れて、楽器をデュオモードで起動します。

「DuoMode」が数秒表示されたあと、066 (F#3) がスプリットポイントとなり、鍵盤が左奏者側と右奏者側に分かれます。



NOTE

- 右奏者側と左奏者側では、同じ音色(楽器番号386~400が選択された場合を除きます)に設定されます。
- デュオのスプリットポイントはF#3から変更できません。
- スプリットポイントは、左奏者側に属します。

2 左側鍵域と右側鍵域に分かれて、二人で演奏しましょう。

音色を選択する

15ページ「ボイス(楽器音)を選ぶ」の手順1~2の操作で選択します。

NOTE

- デュアルボイス(ボイス番号386~400)を選択した場合は、左側鍵域はメインボイスのみとなります。
- デュオモードではレッスン機能は使用できません。

デュオモードでのスピーカー音

デュオモードの初期設定では、左側鍵域の演奏音が左側のスピーカーから、右側鍵域の演奏音が右側のスピーカーから鳴ります。スピーカー音の鳴らしかたについては、「ボイスアウトプット」(33ページ 機能番号015)で設定できます。

NOTE

- デュオモードでは、VoiceOut = Separate (33ページ 機能番号015)の設定により、ステレオサウンドの定位(パン)や左右の音質や音量が、通常とは聞こえ方が違います。特にキーごとに定位の異なるドラムキットなどではご注意ください。

デュオモードでのサステイン効果

通常のモードと同様、デュオモードでも下記いずれかの方法で鍵盤演奏音に余韻(サステイン効果)を付けられます。いずれも、左側鍵域と右側鍵域の両方に効果をかけられます。

- ^{サステイン}[SUSTAIN] ボタンを押して、onに設定する。
常にサステイン効果がかかります。
- [SUSTAIN]端子に接続したフットスイッチ(31ページ)を踏む。
踏んだときだけ、サステイン効果がかかります。

NOTE

- サステイン効果は左側鍵域と右側鍵域で別々にかけることはできません。

デュオモードでのスタイル再生

リズムパートの再生のみ可能です。他のパートは再生できません。

デュオモードでのフレーズ録音

右奏者側と左奏者側は同じトラックに録音されます。

- 3 デュオを解除するには、[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を切ります。

ソングを再生する



この楽器では、内蔵曲や録音した曲の曲データを総称して「ソング」と呼びます。この楽器に内蔵されているソングは、聞いて楽しむだけでなく、レッスン機能など、この楽器に備わっている機能と組み合わせて使えます。

デモソングを聞く

デモ
[DEMO]ボタンを押します。

初期設定では、ソング番号001～003が順番に再生され、最後のソング再生が終わると、最初のソングに戻り繰り返し再生されます。ストップしたいときは、もう一度[DEMO]ボタンまたは[▶/■](スタート/ストップ)ボタンを押します。

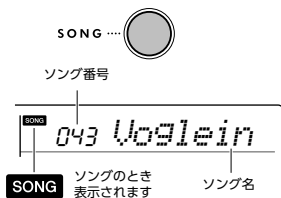


NOTE

- [DEMO]ボタンを押したときに選ばれているデモグループ(右記表参照、33ページ 機能番号019)内のソングが再生されます。
- ソング再生中に[+]/[-]ボタンを押すと、次のソングや前のソングを選べます。

ソングを1曲選んで聞く

- 1 [SONG]ボタンを押します。
- 2 38ページのソングリストを参考に、数字ボタンや[+]、[-]ボタンで好きなソングを選びます。



- 3 [▶/■] (スタート/ストップ)ボタンを押してソングを聞いてみましょう。くり返し再生はされません。もう一度[▶/■]ボタンを押すと、ソングの再生は止まります。



● テンポを変更する

20ページ「再生テンポを変える」をご覧ください。

● ソングの音量を調節する

ソングの音量を調節することにより、鍵盤演奏とのバランスをとることができます。機能設定(32ページ 機能番号002)で調節します。

BGMとして連続再生する

初期設定で[DEMO]ボタンを押すと、内蔵ソング3曲が連続再生されますが、連続再生の対象を内蔵ソング全曲に変えることができます。これにより、さまざまな曲をBGMとして鳴らすことができます。

1 [DEMO]ボタンを1秒以上押します。

[DemoGrp] (33ページ 機能番号019)が画面に数秒表示されたあと、現在の再生対象のグループが表示されます。



1秒以上押し

2 [+], [-]ボタンを押して、連続再生させたいグループを以下から1つ選びます。

Demo	内蔵ソング001～003
Preset	内蔵ソング001～100
User	ユーザーソング113

3 [DEMO]ボタンを押します。

選択したグループの曲が、連続再生されます。再生をストップさせたいときは、もう一度[DEMO]ボタンまたは[▶/■]ボタンを押します。

NOTE

- 特定の曲だけを選んで連続再生することはできません。

次ページへつづく →

● ランダム(順不同)に再生する

デモグループが「Preset」に設定されている場合は、^{デモ}[DEMO]ボタンでの再生の順番を番号順とランダムな順番とで切り替えることができます。^{ランダム}[FUNCTION]ボタンを何度か押し、機能設定(33ページ 機能番号020)で「PlayMode」を表示させ、「[Normal]」か「[Random]」を選びます。

ソングを早送り、早戻し、一時停止する

オーディオプレーヤーのようにソングの再生をコントロールできます。

【◀◀(早戻し)ボタン
再生中に押し、ソングを早戻します。停止中に押しと小節番号が減ります。

【▶▶(早送り)ボタン
再生中に押しと、ソングを早送りします。停止中に押しと小節番号が増えます。

【|||(一時停止)ボタン
ソングを一時停止します。もう一度押しと、一時停止した位置から再生がスタートします。

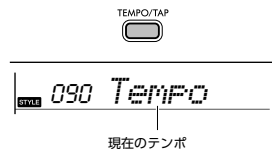
NOTE

- A-Bリピートが設定されている場合、早送りや早戻しはその設定範囲内でのみ可能です。
- ^{デモ}[DEMO]ボタンを使ってソングを鳴らしているときは、[早戻し]、[早送り]、[一時停止]ボタンは使えません。

再生テンポを変える

ソングやスタイル(25ページ)の再生時のテンポを変えることができます。

^{テンポ/タップ}[TEMPO/TAP]ボタンを押して、画面に「Tempo」を表示させ、**数字ボタン**や[+]、[-]ボタンを押してテンポの値を設定します。[+]と[-]ボタンを同時に押しと、現在のソング/スタイルの初期テンポに戻ります。



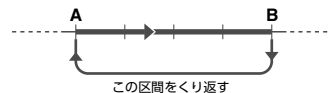
● タップ機能を使う

ソングやスタイルの再生中は、[TEMPO/TAP]ボタンを2回押しとテンポを変えられます。間隔を空けて押しとテンポはゆっくり、間隔を空けずに素早く押しとテンポは速くなります。停止中は、選ばれているスタイル/ソングが4拍子なら4回、3拍子なら3回、[TEMPO/TAP]ボタンを押すと、その間隔のテンポで再生をスタートできます。



ソングの一部をくり返して聞く(A-Bリピート)

ソングのある特定の範囲(A点とB点)を小節単位で指定して、くり返し再生できます。



1 ソング再生をスタートします(19ページ)。

2 ソングを再生しながら、くり返し再生の開始位置(A点)にしたいポイントに来たら、[A⇌B]ボタンを押します。



3 くり返し再生の終了地点(B点)にしたいポイントに来たら、もう一度 [A⇄B] ボタンを押します。

これで、A-B間のくり返し再生(リピート再生)が始まります。

NOTE

- 停止中でも◀◀(早戻し)、▶▶(早送り)ボタンで小節を設定できます。
- くり返しの開始位置(A)を曲の先頭に指定したい場合は、ソングをスタートする前に [A⇄B] ボタンを押して設定します。
- B点を曲の最後に指定したい場合は、A点を指定してから、曲を最後まで再生させます。

4 くり返し設定を取り消すには、[A⇄B] ボタンを押します。

再生を停止するには、▶/■(スタート/ストップ) ボタンを押します。

NOTE

- ソング番号を変えると、くり返しはキャンセルされます。

内蔵ソングのメロディー音色を変更する

内蔵ソングのメロディー音色を、好みの楽器音に変えることができます。

1 好きなソングを選んで、鳴らします。

2 好きなボイス(楽器音)を選びます。

3 [VOICE] ボタンを1秒以上押します。

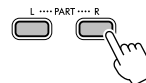
「SONG MELODY VOICE」と画面に表示されたあと、ソングのメロディー音色が手順2で選んだ楽器音に変わります。

NOTE

- 他のソングを選ぶことで、変更したメロディー音色はリセットされます。
- ユーザーソングのメロディー音色は変更できません。

各パートをオン/オフする

ソングデータは2つのパートで構成されています。各パートは、ソング再生中に該当ボタンを押すことで、個別にオン/オフができます。



演奏データがあると
点灯

演奏データがないか
オフのときに消灯

左手および右手パートをオン/オフすることにより、オンのパートを聞きながら、もう一方のオフのパートを練習することができます。

NOTE

- 他のソングを選ぶことで、パートオン/オフの状態はリセットされます。

ソングを選んでレッスンする



好きなソングの右手パート、左手パートを個別にレッスンしたり、両パートをまとめてレッスンしたりできます。付属のソングブックの楽譜を見ながら、3種類のレッスンを試してみましょう。

レッスン紹介

レッスン1 お手本を聞く (LISTEN & LEARN) リッスンアンドラーン

レッスン1では鍵盤を弾く必要がありません。選んだパートがお手本として鳴るので、よく聞いて覚えましょう。

レッスン2 タイミング (TIMING) タイミング

レッスン2では鍵盤を弾くタイミングを練習します。タイミングが合っていれば、どの鍵盤を弾いても、画面に表示される正しい音が鳴ります。

レッスン3 マイペース (WAITING) ウェイティング

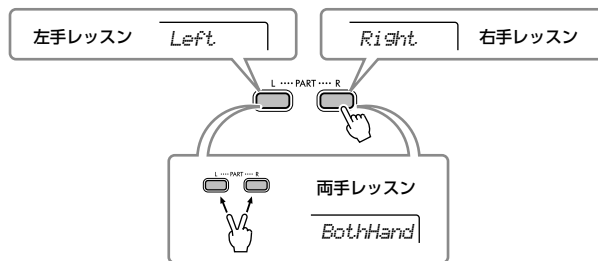
レッスン3では画面に表示される音を正しく弾けるよう練習します。正しい鍵盤が押さえられるまで再生が進まず、弾く人のペースに合わせてテンポが変わるので、自分のペースで練習できます。

NOTE

- レッスン3「マイペース」で再生テンポを変化させたくないときは、機能設定(33ページ 機能番号018)でOFFにします。

レッスンをやってみよう

- 1 [SONG]ボタンを押します。
- 2 数字ボタンや[+]、[-]ボタンでレッスンしたいソングを選びます。
- 3 [R] (右手)ボタン、[L] (左手)ボタンのどちらか、または両方を押して練習したいパートを選びます。

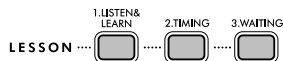


「FAV. (Favorite) WITH STYLE」カテゴリーのソング(38ページ ソング番号080~100)を選ぶと、左手はスタイルを使ったコード(和音)を弾く練習ができます。左手と両手のレッスン時は、鍵盤の左側が自動伴奏鍵域になりますので、左手でコードを弾いたとき、スタイルが鳴ります。

NOTE

- 左手パートがないソングを選ぶと、[L]ボタンを押したときに「No LPart」と画面に表示されます。

4 リスンアンドラーン タイミング
 [1.LISTEN&LEARN]、[2.TIMING]、
ウェイティング
 または[3.WAITING]ボタンを押し
 て、レッスン曲を再生します。



レッスンを始めましょう。

NOTE

- レッスン中でも、[1.LISTEN&LEARN]、[2.TIMING]、または[3.WAITING]ボタンを押し
 てレッスンの種類を切り替えられます。また、[▶/■]ボタンでレッスンを止めることもで
 きます。
- レッスン中は、メインボイスは「000」（ワンタッチセッティング）(15ページ)に切り替わ
 ります。

5 レッスン曲の再生が終了すると、採点結
 果が表示されます。

レッスン2、レッスン3で、1曲レッスンを終
 了したとき、レッスン結果を採点します。
 評価の表示後、ソングが最初から自動的にス
 タートし、再びレッスが始まります。

Excellent! ■■■■■■■■
 Very Good! ■■■■■■
 Good ■■■■
 OK ■■

NOTE

- 曲のメロディー音色を変えると、選んだ音色
 によっては画面に表示されている鍵盤の位置
 がオクターブ単位でずれることがあります。

6 レッスンを終わるには

[▶/■](スタート/ストップ)ボタンを押すと、ソングがストップし、レッスンは終
 わります。

コードの響きを体感する(コードスタディ)



[コードスタディ]カテゴリーのソング(38ページ ソング番号101~112)を再生することにより、演奏に必要なコードの体感ができます。ソング番号101~107のソングは、それぞれ単一のコード(C, Dm, Em, F, G, Am, Bm)で曲が構成されており、コードをひとつずつ体感できます。ソング番号108~112のソングは、それぞれいくつかのコードで曲が構成されており、簡単なコード進行を体感できます。これらのソングを再生し、画面に表示された音符を見ながら鍵盤を押さえて、コードの響きを体感しましょう。

コードをひとつずつ体感する

- 1 [ソング]ボタンを押します。
- 2 「コードスタディ」カテゴリーのソングのうち、ソング番号101~107(38ページ)の中の1曲を数字ボタンで選びます。
- 3 [▶/■] (スタート/ストップ)ボタンを押して、選択したソングを再生します。
- 4 画面に表示された音符を見ながら鍵盤を押さえます。
コードの響きをひとつずつ体感しましょう。
「コードスタディ」を練習していて難しいときは、マイペース機能(22ページ)を活用してみましょう。



NOTE

- この楽器は、32音以上の音を鳴らせません。ソング再生しながら演奏したときに、鳴らない音がある場合は、演奏するパートをオフ(21ページ)にしてください。

コード進行を体感する

- 1 数字ボタンを押して、ソング番号108~112の中からソングを選択します。
- 2 [▶/■] (スタート/ストップ)ボタンを押して、選択したソングを再生します。
- 3 画面に表示された音符を見ながら鍵盤を押さえます。
簡単なコード進行を体感しましょう。またコードの変更がスムーズにできるようになるまで、くり返し鍵盤を押さえてみましょう。
「コードスタディ」を練習していて難しいときは、マイペース機能(22ページ)を活用してみましょう。

リズムや自動伴奏に合わせて弾く(スタイル)



この楽器には自動伴奏機能が付いています。左手でコード(和音)を押さえるだけで、自動的にそのコードにあったスタイル(リズム+ベース音+コード音)を鳴らせます。この自動伴奏機能を使って演奏してみましょう。

1 ^{スタイル} [STYLE] ボタンを押します。

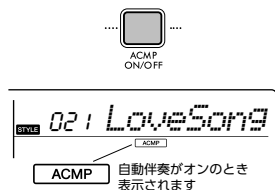
2 数字ボタンや[+]、[-]ボタンを押して好きなスタイルを選びます。

パネル、または39ページのスタイルリストをご覧ください。



3 ^{アンプ} ^{オン/オフ} [ACMP ON/OFF] ボタンを押して、自動伴奏をオンにします。

この操作により、054(F#2)の鍵盤が境目(スプリットポイント)となり、これより左側の鍵盤が、和音(コード)だけを認識する「自動伴奏鍵域」になります。



スプリットポイント...初期設定: 054 (F#2)



自動伴奏鍵域

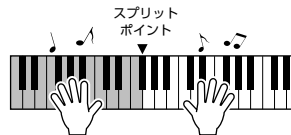
自動伴奏鍵域の一番高い音が「スプリットポイント」です。機能設定(32ページ)機能番号005)で変更できます。

4 ^{シンク} ^{スタート} [SYNC START] ボタンを押して、シンクスタートをオンにします。



5 自動伴奏鍵域でコードを弾き、スタイルをスタートさせます。

左手でいろいろなコードを弾き、右手でメロディーを弾いてみましょう。コードについては「スタイル再生用のコードの押さえ方」(27ページ)をご覧ください。



6 ^{スタート/ストップ} [START/STOP] ボタンを押してスタイルをストップします。

スタイルに合わせて弾くだけでなく、スタイルに変化をつけて演奏を盛り上げることができます。詳しくは、26ページ「スタイルに変化を付ける」をご覧ください。



リズムパートだけを鳴らすには

手順3で[ACMP ON/OFF]ボタンを押さずに、[START/STOP]ボタンを押すと、リズムパートだけが鳴り、全鍵域を使ってメロディー演奏ができます。

[NOTE]

- 123~130の「PIANIST」カテゴリーのスタイルはリズムパートがないためリズムは鳴りません。これらのスタイルは、このページの手順3~5にしたがって弾くと、リズム以外のベース音やコード音を含むスタイルが鳴ります。

● スタイルの音量を調節する

スタイルの音量を調節することにより、鍵盤演奏とのバランスをとることができます。機能設定(32ページ 機能番号001)で調節します。

● テンポを変更する

20ページ「再生テンポを変える」をご覧ください。

スタイルに変化を付ける

スタイルは、下記セクションでできています。セクションを切り替えて、演奏を盛り上げてみましょう。



イントロ INTRO

演奏開始時に使います。イントロ再生が終了すると、メインにうつります。

メイン MAIN

曲のメイン部分の演奏で使います。ほかのセクションボタンを押すまで、くり返し再生されます。A、B2種類のバリエーションがあり、左手で押さえたコードに合わせて再生されます。

オートフィル AUTO FILL

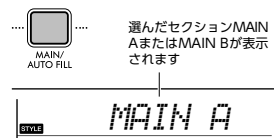
メインのA、Bが切り替わるときに、自動的に短いフレーズ(フィルイン)が挿入されます。

エンディング ENDING

演奏の終わりに使います。エンディングの再生が終わると同時にスタイル再生も終了します。

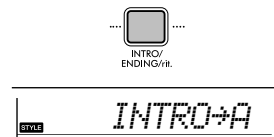
1 25ページのリズムや自動伴奏に合わせて弾く(スタイル)の操作1~4と同じです。

2 ^{メイン/オートフィル} [MAIN/AUTO FILL] ボタンを押して、メインAかBを選びます。



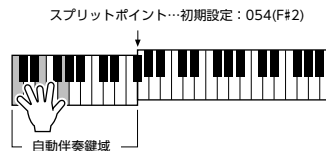
3 ^{イントロ / エンディング / リタルダンド} [INTRO/ENDING/rit.] ボタンを押します。

これで、イントロ→メインAまたはBの順でスタイル再生を始める準備ができました。



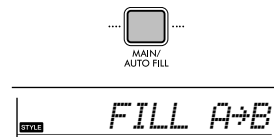
4 自動伴奏鍵域でコードを押さえると、スタイルのイントロがスタートします。

たとえばCメジャーを押さえてみましょう。コードの押さえ方は27ページをご覧ください。



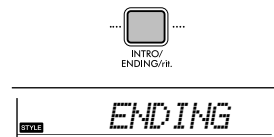
5 イントロが終わったら、曲の進行に合わせて演奏します。

左手でコード、右手でメロディーを弾きます。また、必要に応じて[MAIN/AUTO FILL]ボタンを自由に押します。フィルインをはさんで、メインセクションA/Bが切り替わります。



6 [INTRO/ENDING/rit.] を押します。




































エンディングに切り替わり、エンディングの再生終了と同時にスタイル再生も終了します。エンディング再生中にもう1度[INTRO/ENDING/rit.]ボタンを押すと、リタルダンドして(だんだん遅くなって)スタイルは終了します。



スタイル再生用のコードの押さえ方

ここでは、初めてコードを弾く方のために、よく使われるコードの自動伴奏鍵域での押さえ方をご紹介します。
また、このほかにもたくさんのコードがありますので、もっと詳しく知りたい場合は、市販のコード表などをご覧ください。

★がルート(根音)です。

メジャー	マイナー	セブンス	マイナーセブンス	メジャーセブンス
C 	Cm 	C7 	Cm7 	CM7 
D 	Dm 	D7 	Dm7 	DM7 
E 	Em 	E7 	Em7 	EM7 
F 	Fm 	F7 	Fm7 	FM7 
G 	Gm 	G7 	Gm7 	GM7 
A 	Am 	A7 	Am7 	AM7 
B 	Bm 	B7 	Bm7 	BM7 

- コード押鍵はその転回形も受け付けます。ただし、以下のコードを例外とします。
m7、m7♭5、m7(11)、6、m6、sus4、aug、dim7、7♭5、6(9)、sus2
- 7sus4は、省略した場合のみ転回形は受け付けません。
- sus2はルートのみ画面表示されます。
- コードとして成立しない鍵盤が押された場合、画面にコード名は表示されません。
また、そのときのスタイル演奏は、リズムとベース音だけになります。

簡単なコードの押さえ方

鍵盤を1~3個押さえて、メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードを指定することもできます。

《Cの例》



メジャー (M)
ルートキーを押さえてください。



マイナー (m)
ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵を同時に押さえてください。



セブンス(7)
ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の白鍵を同時に押さえてください。



マイナーセブンス(m7)
ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。

手弾きのフレーズを録音する(フレーズ録音)



手軽に手弾きのフレーズを、ユーザーソング(ソング番号113)として録音できます。録音されたユーザーソングは、内蔵ソングと同様に再生できます。

【NOTE】

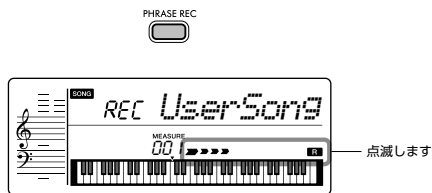
- フレーズ録音の録音容量は、約300音符です。

1 お好みのボイスを選びます(15ページ)。

音に余韻を付けたり(16、31ページ)、音に効果をかけたり(16ページ)したい場合は、録音前に設定します。

2 フレーズレック [PHRASE REC] ボタンを押して録音待機状態に入ります。

画面に「UserSong」(ユーザーソング)と表示されます。



録音待機状態から抜けるには、[PHRASE REC]ボタンをもう一度押して画面の点滅を止めます。

注記

- ユーザーソングが録音済みの状態で録音すると、すでに録音されているユーザーソングが消去され、新しく録音した演奏がユーザーソングとして保存されます(上書き録音)。

3 鍵盤を押さえると同時に録音が始まります。

注記

- 録音中は、電源を切ったり、電源アダプターを抜き差ししたりしないでください。データが失われます。

【NOTE】

- 録音中に録音容量がいっぱいになった場合は、画面に「Mem Full」が表示され、録音を終了してソング選択画面になります。
- 鍵盤を押さずに、[▶/■]ボタンを押しても録音が始まります。

録音中の制限事項

- リバーブレベル、スタイル、メトロノーム音、トランスポーズ、チューニングは録音できません。
- 以下の設定やボタンは録音中は変更できないか、変更できても録音されません。
スプリットポイント、リバーブタイプ、コーラスタイプ、ファンクション[FUNCTION]ボタン、PORTABLE GRAND[PORTABLE GRAND]ボタン

4 [▶/■] (スタート/ストップ) ボタンを押して、録音を終了します。

注記

- 電源を切らずに電源アダプターを抜くなどして電源が切れた場合は、録音したデータが正しく保存されません。
- データが保存されない状況について詳しくは、31ページ「バックアップデータ」の注記をご参照ください。

5 [▶/■] ボタンを押して、録音した曲を再生します。

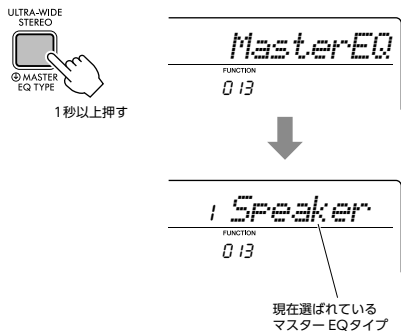
【NOTE】

- ユーザーソングのデータは、空データを上書きすると、消去できます。空データを上書きするには、手順2で録音待機に入ったあと、鍵盤は押さえず、[▶/■]ボタンを2回押しします。

マスター EQを設定してお好みの音にする

本体スピーカーやヘッドホン、外部スピーカーなどで鳴らすサウンドを、お好みの音に設定します。

- 1 [ULTRA-WIDE STEREO] ボタンを1秒以上押して、「MasterEQ」(33 ページ 機能番号013)を画面に表示させます。
[MasterEQ] が数秒表示されたあと、現在のマスター EQタイプが表示されます。



- 2 [+], [-] ボタンを何度か押して、好きなマスター EQタイプを選びます。

マスター EQタイプ

1	スピーカー Speaker	楽器内部のスピーカーを使ってそのまま聞く場合に選びます。
2	ヘッドホン Headphone	ヘッドホンや外部スピーカーに接続して聞く場合に選びます。
3	ブースト Boost	より迫力のある音質が得られます。ただし、選択する音色やスタイルなどの種類によっては他のEQ設定より、音がひずみやすくなります。
4	ピアノ Piano	ピアノソロ演奏に適したセッティングです。
5	ブライツ Bright	中音域を抑えて音の印象を明るくします。
6	マイルド Mild	高音域を抑えて音の印象を柔らかくします。

- 3 マスター EQ設定画面から抜けるには、[SONG]、[VOICE]、[STYLE] ボタンのいずれかを押します。

他の機器を接続する



外部機器の音をこの楽器で鳴らす

携帯オーディオプレーヤーなどのオーディオ機器を楽器本体に接続すれば、再生音を本体スピーカーで鳴らし、再生に合わせて鍵盤を弾くことができます。

1 オーディオ機器および楽器本体の電源をオフにします。

2 オーディオ機器を楽器本体の
[AUX IN]端子に接続します。

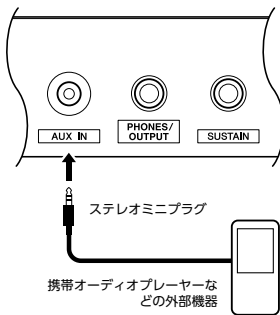
片側がステレオミニプラグ、もう片方はオーディオ機器の出力端子に接続できるプラグを持つオーディオケーブル(抵抗なし)をお使いください。

3 オーディオ機器、楽器本体の順に電源を入れます。

4 オーディオ機器を再生します。
オーディオ機器の再生音が楽器本体のスピーカーで鳴ります。

5 オーディオ機器と楽器本体の音量バランスを調整します。
オーディオ機器の再生音量は、オーディオ機器側で調整します。

6 オーディオ機器の再生音に合わせて鍵盤を弾いてみましょう。



7 演奏が終わったら、オーディオ機器での再生を停止します。

注意

- この楽器を外部機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切ったあとで接続してください。感電、または機器損傷のおそれがあります。また、再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、外部機器の音量を最小にしてから接続してください。

注記

- 電源を入れるときは、外部機器→この楽器の順に、電源を切るときは、この楽器→外部機器の順に行なってください。

別売のヘッドホン/外部スピーカーを使う

ヘッドホンを[PHONES/OUTPUT]端子に接続します。フォーンズ/アウトプット端子は外部出力端子にもなります。アンプ内蔵スピーカー、コンピューター、キーボードアンプ、レコーダーなどの入力端子に接続すれば、この楽器のオーディオ音声を外部機器で鳴らすことができます。ヘッドホンや外部機器を接続すると、自動的にこの楽器のスピーカーからは音が出なくなります。



注意

- 大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。
- 外部機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った上で行なってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器の音量を最小にしてください。感電または機器の損傷のおそれがあります。

注記

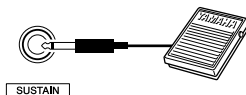
- 楽器本体の音を外部機器に出力するときは、最初に楽器本体、次に外部機器の順に電源を入れてください。電源を切るときはこの逆の順で行なってください。機器の損傷の原因になります。



バックアップと初期化

ペダルを使う(サステイン)

別売のフットスイッチ(FC5またはFC4A)を[SUSTAIN]端子に接続すると、ピアノのダンパーペダルと同様、フットスイッチを踏んでいる間、鍵盤から指を離しても音を長く響かせることができます。



【NOTE】

- フットスイッチのケーブルの抜き差しは、電源を切った状態で行なってください。
- フットスイッチを踏んだまま電源を入れないでください。フットスイッチのオン/オフが逆になります。
- 自動伴奏(25ページ)にはフットスイッチは効きません。
- フットスイッチを踏んでいる間に鍵盤から手を離すと、音色によって音が減衰して消えるものと、音が持続して消えないものがあります。

バックアップデータ

以下の設定は自動的にバックアップされるため、電源を切っても消えません。

バックアップされる内容


- ユーザーソング (28ページ)
- 機能設定：(32ページ)
チューニング、ユアテンポ、マスターEQタイプ、タッチレスポンス、オートパワーオフ、バッテリー選択

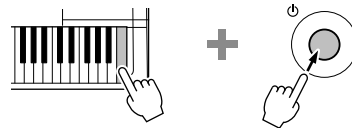
注記

- バックアップは電源を切るときに自動的に実行されますが、下記の状況で電源が切れたときは、バックアップが実行されませんのでご注意ください。
- 電源が入っている状態で、電源アダプターを抜いたとき
 - 停電などで突然電源が切れたとき
 - アルカリ/マンガン乾電池を使用していて、消耗して電源が切れたとき

初期化

バックアップデータを消去し、設定を工場出荷時の状態に戻すことを「初期化」と呼びます。初期化は、以下の方法で行なってください。

鍵盤の最高音(白鍵)を押したまま【】(スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。



機能設定



チューニングやスプリットポイント、各ボイスやエフェクトなどの細かな設定をするのが機能設定です。

- 1 設定したい項目の画面表示が出るまで、**[FUNCTION]** ボタンを何度か押します。

[FUNCTION] ボタンを押すたびに、機能番号がひとつずつ大きな番号になります。

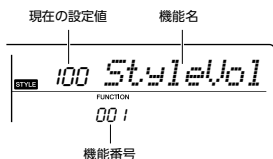
[FUNCTION] ボタンを押しながら、[-] ボタンを押すと機能番号をひとつ小さな番号に戻すことができます。

[+]、[-] ボタンだけを押しても、機能番号は変わりません。

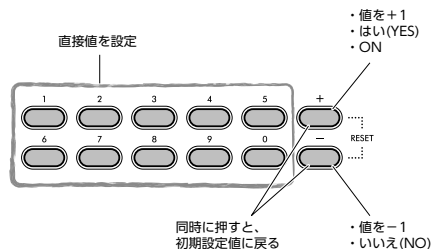
項目によっては、選択された機能名が数秒表示されたあと、現在の設定値が表示されます。

NOTE

- ソング、スタイル、メトロノーム再生中は、機能番号は表示されません。拍数が表示されます。



- 2 数字ボタンや、[+]、[-] ボタンを押して、値を設定します。



- 3 機能設定から抜けるには[SONG]、[VOICE]、[STYLE] ボタンのいずれかを押しします。

機能リスト

機能番号	機能名	画面表示	設定値	初期設定	内容
音量の設定					
001	スタイル音量	StyleVol	000~127	100	スタイル選択時にスタイルの再生音量を設定します(26ページ)。
002	ソング音量	SongVol	000~127	100	ソング選択時にソングの再生音量を設定します(19ページ)。
楽器全体					
003	トランスポーズ	Transpos	-12~12	0	鍵盤の音の高さを半音単位で設定します。
004	チューニング	Tuning	427.0Hz~453.0Hz	440.0Hz	楽器全体のチューニング(音の高さの微調整)を設定します。(約0.2Hz単位)
005	スプリットポイント	SplitPnt	036~096 (C1~C6)	54 (F#2)	楽器の音色と自動伴奏鍵域の境目を設定します。
006	タッチレスポンス	TouchRes	1 (Soft)、2 (Medium)、3 (Hard)、4 (Fixed)	2 (Medium)	タッチレスポンス(16ページ)を選択します。

機能番号	機能名	画面表示	設定値	初期設定	内容
ボイス(15ページ)					
007	音量	<i>M. Volume</i>	000~127	*	ソングやスタイルに合わせて演奏するときの、手弾き音の音量を調節します。
008	オクターブ	<i>M. Octave</i>	-2~+2	*	ボイスの音程をオクターブ単位で設定します。
009	コーラスレベル	<i>M. Chorus</i>	000~127	*	ボイスにかけるコーラスのかかり具合を設定します。
エフェクト					
010	リバーブタイプ	<i>Reverb</i>	1~3 (Hall 1~3)、4~5 (Room 1~2)、6~7 (Stage 1~2)、8~9 (Plate 1~2)、10 (Off (オフ))	**	リバーブタイプ(40ページ)を選択します。
011	リバーブレベル	<i>RevLevel</i>	000~127	64	リバーブのかかり具合を設定します。
012	コーラスタイプ	<i>Chorus</i>	1 (Chorus1)、2 (Chorus2)、3 (Chorus3)、4 (Flanger1)、5 (Flanger2)、6 (Off (オフ))	**	コーラスタイプ(40ページ)を選択します。
013	マスターEQタイプ	<i>MasterEQ</i>	1 (Speaker)、2 (Headphone)、3 (Boost)、4 (Piano)、5 (Bright)、6 (Mild)	1 (Speaker)	スピーカーから出力されるサウンドを、楽器の置かれている環境に応じてもっとも聞きやすい音に設定します(29ページ)。
014	ワイドタイプ	<i>Wide</i>	1 (Wide1)、2 (Wide2)、3 (Wide3)	2 (Wide2)	ウルトラワイドステレオのタイプを設定します。設定値が大きくなるほど、効果が大きくなります(16ページ)。
015	ボイスアウトプット	<i>VoiceOut</i>	1 (Normal)、2 (Separate)	2 (Separate)	デュオモード(17ページ)の場合に有効な機能です。「Normal」を選ぶと、左側鍵域と右側鍵域の演奏音が左右両側のスピーカーで鳴ります。「Separate」を選ぶと、左側鍵域の演奏音が左側スピーカーで、右側鍵域の演奏音が右側スピーカーで鳴ります。
メトロノーム(15ページ)					
016	拍子	<i>TimeSig</i>	00~15	**	メトロノームの拍子を設定します。 1拍目に「チーン」となり、それ以外の拍では「カチ」と鳴ります。拍子を00に設定した場合は、「チーン」と鳴らずにすべての拍で「カチ」と鳴ります。
017	メトロノーム音量	<i>MetroVol</i>	000~127	100	メトロノームの音量を設定します。
レッスン(22ページ)					
018	ユアテンポ	<i>YourTemp</i>	ON/OFF	ON	「マイペース」のソングのテンポを、弾くペースに合わせて変化する(ON)か、変化しない(OFF)かを設定します。
デモ(19ページ)					
019	デモグループ	<i>DemoGrp</i>	1 (Demo)、2 (Preset)、3 (User)	1 (Demo)	再生させるデモのグループを選択します。
020	プレイモード	<i>PlayMode</i>	1 (Normal)、2 (Random)	1 (Normal)	デモの再生方法を選択します。
オートパワーオフ(13ページ)					
021	オートパワーオフモード	<i>AutoOff</i>	OFF、5/10/15/30/60/120(分)	15(分)	オートパワーオフするまでの時間を設定します。
バッテリー(12ページ)					
022	バッテリー選択	<i>Battery</i>	1 (Alkaline)、2 (Ni-MH)	1 (Alkaline)	電池の種類を選択します。 Alkaline: アルカリ乾電池、マンガン乾電池 Ni-MH: 充電式ニッケル水素電池(充電電池)

* 音色の組み合わせごとに最適な設定値になっています。

** 現在選ばれている「ソング」「スタイル」ごとに最適な設定値になっています。

困ったときは



現象	原因と解決方法
[⓪](スタンバイ/オン)スイッチを押して、電源を入れたとき、または切ったとき、ポツンという音がする。	故障ではありません。本体に電流が流れるためです。
楽器から雑音が出る。	楽器の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。携帯電話の電源を切るか、携帯電話を楽器から離れたところで使ってください。
スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスのアプリと楽器を一緒に使っているとき、本体スピーカーやヘッドホンから雑音(ノイズ)が出る。	スマートデバイスのアプリと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるため、スマートデバイスの機内モードをオンにしてからお使いいただくことをおすすめします。
鍵盤を押さえても、音が鳴らない。ソングやスタイルを再生しても、音が鳴らない。	<small>フォーンズ/アウトプット</small> [PHONES/OUTPUT]端子に、ヘッドホンなどのプラグが接続されていませんか？ヘッドホン(プラグ)を抜いてください。
同時に押さえた鍵盤の音で、鳴らない音がある。 または、鍵盤演奏すると、スタイルやソングの演奏音、メトロノームが途中で途切れる。	この楽器の最大同時発音数(32音)を越えています。スタイルやソング、メトロノームなどを含めて最大32音の範囲で鳴らすことができます。32音以上の発音情報があった場合、発音中のいずれかの音が消えてしまいます。
<small>アンプ オン/オフ</small> [ACMP ON/OFF]ボタンを押してもACMP ONが表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> • スタイルに関する機能を使うときは、<small>スタイル</small> [STYLE]ボタンを押してください。 • デュオモード時には表示されません。
スタイルが正しく演奏されない。	<ul style="list-style-type: none"> • スタイル音量の設定が下がっていませんか？スタイル音量の設定を確認してください。(32ページ 機能番号001) • コード押鍵に対し、スプリットポイントの設定が不適切ではありませんか？25ページを参考に、機能設定(32ページ 機能番号005)で、スプリットポイントを適切な位置に設定してください。 • ACMP ON表示は出ていますか？表示がでない場合は、もう一度[ACMP ON/OFF]ボタンを押してACMP ONを表示させてください。

現象	原因と解決方法
スタイルが、押さえたコードのとおりには鳴らない。	<ul style="list-style-type: none"> • 同じようなコードが連続した場合(マイナーセブンスコードに、同じルートマイナーコードが続いた場合など)、スタイルが変化しないことがあります。 • 鍵盤を2つだけ押さえた場合、その前のコードをもとに最適なコードが検出されます。 • オクターブ(完全8度)の押鍵では、ルート音のみによる伴奏が演奏されます。
フットスイッチ(サステイン)のオン/オフが逆になった(フットスイッチを踏むと音がカットされ、フットスイッチから足を離すとサステインが効く)。	電源を入れたあとにフットスイッチを接続したため、もしくはフットスイッチを踏みながら電源を入れたためです。電源を切った状態で接続し、フットスイッチを踏まずに電源を入れてください。
押さえる鍵盤によって、音質や音量が異なる。	故障ではありません。この楽器で採用しているAWM音源方式では、リアルな楽器表現を可能にするために、鍵盤をいくつかにわけて楽器音をサンプリングする「マルチサンプリング」という方式をとっています。これらの音色は、音域によって音質や音量が若干異なる場合があります。
<ul style="list-style-type: none"> • 音量が小さくなった。 • 音質が劣化した。 • リズムが止まる。 • ソングなどが、正しく演奏(再生)されない。 • 突然画面の表示が消え、パネル設定がリセットされた。 	電池が消耗しています。6本とも新しい電池に交換するか、または、付属の電源アダプターを使用してください。
電源が勝手に切れる。	故障ではありません。オートパワーオフ機能が働いたためです。(13ページ)オートパワーオフ機能を使用しない場合は、機能設定(33ページ 機能番号021)でオートパワーオフをOFFに設定してください。
[⓪](スタンバイ/オン)スイッチを押して、電源を入れたとき、電源がすぐに切れる。	故障ではありません。指定以外の電源アダプターを使用すると、電源を入れたときに電源がすぐに切れる場合があります。

ボイスリスト



最大同時発音数について

この楽器の最大同時発音数は32音ですが、スタイルやソングなどを含めたすべての発音数の合計が32音ということです。したがって、スタイルやソングの再生などで発音している分だけ、鍵盤演奏の発音数は減少します。32音以上になると、後着優先*で発音します。

*後着優先：最大同時発音数を超えて演奏情報を受けた場合、発音中の音を切って音を止め、後から送られてくる演奏情報を優先的に発音するしくみ。

ボイス番号	ボイス名
PIANO	
001	グランドピアノ
002	モノラルグランドピアノ
003	ブライトピアノ
004	メローピアノ
005	ホンキートンクピアノ
006	ピアノストリングス
007	ドリーム
008	ハーブシコード 1
009	ハーブシコード 2
E.PIANO	
010	エレクトリックピアノ 1
011	エレクトリックピアノ 2
012	エレクトリックピアノ 3
013	エレクトリックグランドピアノ
014	コーラスエレクトリックピアノ 1
015	コーラスエレクトリックピアノ 2
016	デチューンドエレクトリックピアノ
017	DX+アナログエレクトリックピアノ
018	クラビ
019	ワウクラビ
ORGAN	
020	ドローパーオルガン 1
021	ドローパーオルガン 2
022	60sドローパーオルガン 1
023	60sドローパーオルガン 2
024	60sドローパーオルガン 3
025	70sドローパーオルガン 1
026	70sドローパーオルガン 2
027	デチューンドドローパーオルガン
028	パーカッシブオルガン 1
029	パーカッシブオルガン 2
030	70sパーカッシブオルガン

ボイス番号	ボイス名
031	デチューンドパーカッシブオルガン
032	16+22/3オルガン
033	オルガンベース
034	ロックオルガン
035	ロータリーオルガン
036	スローロータリーオルガン
037	ファストロータリーオルガン
038	パイプオルガン 1
039	パイプオルガン 2
040	パイプオルガン 3
041	オルガンフルート
042	トレモロオルガンフルート
043	ノートルダム
044	チージーオルガン
045	ライトオルガン
046	リードオルガン
047	パフオルガン
ACCORDION	
048	アコーディオン
049	タンゴアコーディオン 1
050	タンゴアコーディオン 2
051	ハーモニカ 1
052	ハーモニカ 2
GUITAR	
053	ナイロン弦ギター
054	スチール弦ギター
055	ナイロン弦&スチール弦ギター
056	スチール弦ギター&ボディースOUND
057	ミュートスチール弦ギター
058	12弦ギター
059	ジャズギター
060	ジャズアンブ
061	ジャズマン

ボイス番号	ボイス名
062	クリーンギター
063	コーラスギター
064	ファンクギター
065	ギターピンチ
066	ミュートギター
067	オーバードライブギター
068	ディストーションギター
069	フィードバックギター 1
070	フィードバックギター 2
071	ギターフィードバック
072	ギターハーモニクス 1
073	ギターハーモニクス 2
074	ギターハーモニクス 3
BASS	
075	アコースティックベース 1
076	アコースティックベース 2
077	フィンガーベース 1
078	フィンガーベース 2
079	フィンガーベースダーク
080	フィンガースラップベース
081	ピックベース
082	フレットレスベース 1
083	フレットレスベース 2
084	フレットレスベース 3
085	フレットレスベース 4
086	スラップベース 1
087	スラップベース 2
088	スラップベース 3
089	ジャズリズム
090	ベース&ディストーションギター
091	ミュートピックベース
092	モジュレーターベース
093	パンチサムベース

ボイス番号	ボイス名
094	シンセベース 1
095	シンセベース 2
096	シンセベース 2 ダーク
097	テクノシンセベース
098	メローシンセベース
099	シーケンスドベース
100	クリックシンセベース
101	モジュラーシンセベース
102	DXベース
STRINGS	
103	ストリングス 1
104	ストリングス 2
105	ストリングス 3
106	スローストリングス
107	ステレオストリングス
108	ステレオスローストリングス
109	オーケストラ 1
110	オーケストラ 2
111	60sストリングス
112	サスペンションストリングス
113	レガートストリングス
114	ウォームストリングス
115	キングダム
116	トレモロストリングス
117	スロートレモロストリングス
118	トレモロオーケストラ
119	ピチカートストリングス
120	バイオリン
121	スローバイオリン
122	ピオラ
123	チェロ
124	コントラバス
125	ハーブ

ボイスリスト

ボイス番号	ボイス名
126	シンセストリングス 1
127	シンセストリングス 2
128	オーケストラヒット 1
129	オーケストラヒット 2
130	インバクト
CHOIR	
131	クワイアアー
132	ボイスウー
133	ステレオクワイア
134	メロークワイア
135	クワイアストリングス
136	シンセボイス 1
137	シンセボイス 2
138	コラール
139	アナログボイス
BRASS	
140	ブラスセクション
141	シンセブラス 1
142	シンセブラス 2
143	ソフトブラス
144	レゾナントシンセブラス
145	クワイアブラス
146	トランペット
147	ウォームトランペット
148	ミュートトランペット
149	トロンボーン 1
150	トロンボーン 2
151	トランペット & トロンボーンセクション
152	フレンチホルン 1
153	フレンチホルン 2
154	フレンチホルンソロ
155	ホルンオーケストラ
156	チューバ
WOODWIND	
157	テナーサクソ
158	ブレッシーテナーサクソ
159	アルトサクソ
160	ソプラノサクソ
161	バリトンサクソ
162	サクソセクション

ボイス番号	ボイス名
163	クラリネット
164	オーボエ
165	イングリッシュホルン
166	バスーン
167	フルート
168	ピッコロ
169	パンフルート
170	リコーダー
171	ボトル
172	尺八
173	口笛
174	オカリナ
SYNTH	
175	スクエアリード 1
176	スクエアリード 2
177	LMスクエア
178	ソートゥースリード 1
179	ソートゥースリード 2
180	シックソートゥース
181	ダイナミックソートゥース
182	デジタルソートゥース
183	ファーゴ
184	ファンキーリード
185	サインリード
186	ソロサイン
187	カリオリード
188	チフリード
189	チャランリード
190	ボイスリード
191	5度リード
192	ベース&リード
193	ハロー
194	シュラウド
195	メロー
196	ビッグリード
197	シーケンスドアナログ
198	ピュアリード
199	ディストーションリード
200	ビッグファイブ
201	ビッグ&ロー
202	ファット&パーキー

ボイス番号	ボイス名
203	ニューエイジパッド
204	ファンタジー
205	ウォームパッド
206	ポリシンセパッド
207	イクイノックス
208	クワイアパッド
209	ボウドパッド
210	メタリックパッド
211	ハローパッド
212	スイープパッド
213	ソフトホワール
214	アイトピア
215	レイン
216	サウンドトラック
217	クリスタル
218	アトモスフィア
219	ブライトネス
220	ゴプリン
221	エコー
222	サイエンスフィクション
223	アフリカンウィンド
224	カリブ
225	プロローグ
226	シンセドラムコンプ
227	ポップコーン
228	タイニーベル
229	ラウンドグロッケンシュピール
230	グロッケンシュピールチャイム
231	クリアベル
232	コーラスベル
233	ソフトクリスタル
234	エアベル
235	ウォームアトモスフィア
236	ハローリリース
237	ナイロンエレフトリックピアノ
238	ナイロンハーブ
239	ハーブボックス
240	アトモスフィアパッド
241	ゴプリンシンセ
242	クリーパー
243	リチュアル

ボイス番号	ボイス名
244	トゥーヘブン
245	ナイト
246	グリソン
247	ベルクワイア
248	ベルハーブ
WORLD	
249	バンジョー
250	ミュートバンジョー
251	フィドル
252	バグパイプ
253	ダルシマー 1
254	ダルシマー 2
255	ツインパロン
256	サントゥール
257	カヌーン
258	ワード
259	ラバーブ
260	カリンバ
261	ハルモニウム 1 (単音)
262	ハルモニウム 2 (二音)
263	ハルモニウム 3 (三音)
264	タンブーラ
265	シタール 1
266	シタール 2
267	デチューンドシタール
268	ブーンギ
269	ジャナイ
270	ゴピチャント
271	タブラ
272	二胡 (アウフ)
273	笛子 (ディズ)
274	琵琶 (ピバ)
275	古筝 (グチェン)
276	揚琴 (ヤンチン)
277	三味線
278	琴
279	大正琴
280	マンドリン
281	ウクレレ
282	ボナー
283	アルタイル

ボイス番号	ボイス名
284	ガムラン
285	ステレオガムラン
286	ラマシナル
287	タイベル
PERCUSSION	
288	ビブラフォン
289	ソフトビブラフォン
290	マリンバ
291	ソフトマリンバ
292	サインマリンバ
293	パリンバ
294	ログドラム
295	シロフォン
296	スチールドラム
297	チェレスタ
298	オルゴール 1
299	オルゴール 2
300	チャーチベル
301	カリヨン
302	チューブラーベル
303	ティンパニ
304	グロッケンシュピール
305	ティンクルベル
306	アゴゴ
307	ウッドブロック
308	カスタネット
309	メロディックタム 1
310	メロディックタム 2
311	リアルタム
312	ロケットタム
313	エレクトロニックパーカッション
314	アナログタム
315	シンセドラム
316	和太鼓
317	グランカッサ
318	ガムリンバ
319	グラスパーカッション
320	リパースシナル

ボイス番号	ボイス名
DRUM KIT	
321	スタンダードキット 1
322	スタンダードキット 2
323	ルームキット
324	ロックキット
325	エレクトロニックキット
326	アナログキット
327	ダンスキット
328	ジャズキット
329	ブラッシュキット
330	シンフォニーキット
331	中国キット
332	インドキット
333	アラビックキット
334	SFXキット 1
335	SFXキット 2
336	サウンドエフェクトキット
337	フレットノイズ
338	ブレスノイズ
339	カッティングノイズ 1
340	カッティングノイズ 2
341	ストリングスラップ
342	フルートキークリック
343	鳥のさえずり 1
344	鳥のさえずり 2
345	電話 1
346	電話 2
347	フォーンコール
348	雨
349	雷
350	風
351	せせらぎ
352	海辺
353	泡
354	フィード
355	犬
356	馬
357	マオウ

ボイス番号	ボイス名
358	ドアのきしみ
359	ドアを閉める
360	スクラッチカット
361	スクラッチスプリット
362	ウィンドチャイム
363	イグニッション
364	タイヤ
365	レーシングカー
366	衝突
367	サイレン
368	列車
369	ヘリコプター
370	ジェット機
371	スターシップ
372	バースト
373	ローラーコースター
374	サブマリン
375	笑い声
376	悲鳴
377	パンチ
378	心音
379	足音
380	拍手
381	銃声
382	マシンガン
383	レーザーガン
384	爆発
385	花火
DUAL*	
386	オクターブピアノ
387	ピアノ&ピチカートストリングス
388	ピアノ&フルート
389	ピアノパッド
390	オクターブホンキートンク
391	ハーブシコード&ストリングス
392	エレクトリックピアノパッド 1
393	エレクトリックピアノパッド 2
394	エレクトリックピアノパッド 3

ボイス番号	ボイス名
395	オクターブストリングス
396	オクターブプラス
397	オーケストラトゥッティ
398	オクターブコーラス
399	ジャズセクション
400	フルート&クラリネット

* [DUAL]カテゴリーの音色を選ぶと、2つの音色が重なった音になります。

ソングリスト



ソング番号	ソング名
TOP PICK	
001	デモ 1
002	デモ 2
003	デモ 3
FAVORITE	
004	フレール・ジャック
005	かえるの合唱
006	オーラ・リー
007	ロンドン橋
008	アビニョンの橋の上で
009	一週間
010	アロハ・オエ
011	森のくまさん
012	故郷の人々
013	駅馬車
014	ゆかいな牧場
015	サンタ・ルチア
016	幸せなら手をたたこう
017	夢見る君
018	グリーンスリープス
019	カリンカ
020	山のごちそう (Holdilia Cook)
021	パンジョーをかき鳴らせ
022	ラ・クカラチャ
023	フニクリ・フニクラ
024	家路
025	ブラームスの子守歌
026	愛の夢 第3番
027	威風堂々
028	闘牛士の歌
029	木星(組曲「惑星」より)
030	ダットン人の踊り
031	モルダウ (交響詩「我が祖国」より)

ソング番号	ソング名
032	愛のあいさつ
033	ユーモレスク
034	交響曲第9番 [新世界より] 第4楽章
035	フォーレのシチリアーノ
036	白鳥の湖
037	凱旋行進曲 (「アイーダ」より)
038	弦楽セレナード
039	ピチカート・ポルカ
040	愛のロマンス
041	パッハのメヌエット BWV Anh.114
042	アベ・ベルム・コルプス
043	小鳥ならば
044	ローレイ
045	殖生の宿
046	スカボロ・フェア
047	なつかしきケンタッキーの 我が家
048	ロッホ・ローモンド
049	きよしこの夜
050	ひいらぎかざろう
051	もみの木
052	ソナタ「悲愴」第2楽章
053	グノーのアベ・マリア
054	主よ人の望みの喜びよ
055	雨だれの前奏曲
056	夜想曲 第2番
057	別れの曲
058	アイネ・クライネ・ナハトム ジーク 第2楽章
059	アラバスク
060	貴婦人の乗馬
061	エリーゼのために
062	トルコ行進曲

ソング番号	ソング名
063	24の前奏曲 作品28-7
064	アニー・ローリー
065	金髪のジェニー
DUET	
066	10人のインディアン
067	かっこう
068	むすんでひらいて
069	かわいいオーガスティン
070	おめでとうクリスマス
071	ロンドン橋
072	スカボロ・フェア
073	きらきら星
074	ちょうちょう
075	もみの木
076	ポップ・ゴーズ・ザ・ ウィズル
077	メリーさんのひつじ
078	こげこげポート
079	オン・トップ・オブ・オールド・ スモーカー
FAV. (Favorite) WITH STYLE	
080	アメーzing・グレース
081	おお、スザンナ
082	もろびとこざりて
083	茶色の小瓶
084	アルプス一万尺
085	愛しのクレメンティン
086	蛍の光
087	マイ・ボニー
088	聖者の行進
089	ドナウ川のさざ波
090	リパブリック讃歌
091	線路は続くよどこまでも
092	大きな古時計

ソング番号	ソング名
093	ビル・ペイリ (帰っておいでよ)
094	ダウン・パイ・ザ・ リバーサイド
095	草競馬
096	アイルランド人のほほ笑みは
097	シューベルトのアペマリア
098	アメリカンパトロール
099	花のフルツ (くるみ割り人形より)
100	円舞曲「春の声」
CHORD STUDY	
101~112	コードスタディ 01~12

* これら内蔵ソングの譜面がソングブックに入っています。ただし3曲(ソング番号001~003)は除かれます。

* 内蔵ソングのうち、一部のソングは、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。

スタイルリスト



スタイル番号	スタイル名
POP & ROCK	
001	ブリットポップロック
002	8ビートモダン
003	クール8ビート
004	60sギターポップ
005	8ビートアドリア
006	60s8ビート
007	8ビート
008	オフビート
009	60sロック
010	ハードロック
011	ロックシャッフル
012	8ビートロック
013	16ビート
014	ポップシャッフル
015	ギターポップ
016	16ビートアップテンポ
017	クールシャッフル
018	ヒップホップライト
BALLAD	
019	70sグラムピアノ
020	ピアノバラード
021	ラブソング
022	6/8モダンエレピ
023	6/8スローロック
024	オルガンバラード
025	ポップバラード
026	16ビートバラード
DANCE	
027	ユーロトランス
028	イビサ
029	スイングハウス
030	クラブダンス
031	クラブラテン
032	ガラージ 1
033	ガラージ 2

スタイル番号	スタイル名
034	テクノパーティー
035	UKポップ
036	ヒップホップグループ
037	ヒップシャッフル
038	ヒップホップポップ
039	70sディスコ
040	ラテンディスコ
041	サタデーナイト
042	ディスコハンズ
SWING & JAZZ	
043	ビッグバンドファスト
044	ビッグバンドバラード
045	ジャズクラブ
046	スイング 1
047	スイング 2
048	5ビート
049	デキシーランド
050	ラグタイム
R&B	
051	ソウル
052	デトロイトポップ
053	6/8ソウル
054	クロコツイスト
055	ロックンロール
056	コンボプギー
057	6/8ブルース
LATIN	
058	ブラジリアンサンバ
059	ボサノバ
060	フォホ
061	セルタネージョ
062	ホロボ
063	パランダ
064	レゲトン
065	ティファナ
066	パソドゥランゲンセ

スタイル番号	スタイル名
067	クンビアグルベラ
068	マンボ
069	サルサ
070	ビギン
071	レゲエ
WORLD	
072	カントリーポップ
073	カントリースイング
074	カントリー 2/4
075	ブルーグラス
076	スコティッシュリール
077	サイディー
078	ワヘダサギーラ
079	イラニアンエレック
080	エマラティ
081	インディアンポップ
082	バングラ
083	パジャン
084	ボリー
085	タミール
086	ケララ
087	ゴアンポップ
088	ラジャスタン
089	ダンディヤ
090	カッターリー
091	フォークヒルズ
092	モダンダンドゥット
093	クロンチョン
094	喜慶鐘鼓
095	彝(イ)族民謡
096	京劇
BALLROOM	
097	ウィンナーワルツ
098	イングリッシュワルツ
099	スローフォックス
100	フォックストロット

スタイル番号	スタイル名
101	クイックステップ
102	タンゴ
103	パソドブレ
104	サンバ
105	チャチャチャ
106	ルンバ
107	ジャイブ
TRAD. (Traditional) & WALTZ	
108	USマーチ
109	6/8マーチ
110	ジャーマンマーチ
111	ボルカポップ
112	オーバークライナーボルカ
113	タランテラ
114	ショーチューン
115	クリスマススイング
116	クリスマスワルツ
117	イタリアンワルツ
118	スイングワルツ
119	ジャズワルツ
120	カントリーワルツ
121	オーバークライナーワルツ
122	ミュゼット
PIANIST	
123	ストライド
124	ピアノスイング
125	アルペジオ
126	ハバネラ
127	スローロック
128	8ビートピアノバラード
129	6/8ピアノマーチ
130	ピアノワルツ

エフェクトタイプリスト



[リバーブタイプリスト]

番号	タイプ	解説
01	Hall 1 (ホール1)	ホールで弾いたときのようなリバーブ(残響)がかかります。
02	Hall 2 (ホール2)	
03	Hall 3 (ホール3)	
04	Room 1 (ルーム1)	部屋で弾いたときのようなリバーブ(残響)がかかります。
05	Room 2 (ルーム2)	
06	Stage 1 (ステージ1)	ソロ楽器に適したリバーブです。
07	Stage 2 (ステージ2)	
08	Plate 1 (プレート1)	鉄板の持つ響きが得られるリバーブです。
09	Plate 2 (プレート2)	
10	Off (オフ)	リバーブエフェクトはかかりません。

[コーラスタイプリスト]

番号	タイプ	解説
1	Chorus 1 (コーラス1)	音が自然に広がるコーラス効果がかかります。
2	Chorus 2 (コーラス2)	
3	Chorus 3 (コーラス3)	
4	Flanger 1 (フランジャー 1)	ジェットサウンドを作り出す効果です。
5	Flanger 2 (フランジャー 2)	
6	Off (オフ)	コーラスエフェクトはかかりません。

仕様



品名			電子キーボード
サイズ/質量	寸法	幅×奥行き×高さ	940 mm × 316 mm × 100 mm
	質量		4.0 kg (電池含まず)
操作子	鍵盤	鍵盤数	61
		タッチ感度	ハード、ミディアム、ソフト、フィックス
	ディスプレイ	タイプ	液晶
		言語	英語
パネル	言語	英語	
音源/音色	音源	音源方式	AWMステレオサンプリング
	発音数	最大同時発音数	32
	プリセット	音色数	384音色+16ドラム/SFXキット
効果	タイプ	リバーブ	9種類
		コーラス	5種類
		マスターEQ	6種類
		ウルトラワイドステレオ	3種類
	ファンクション	パネルサステイン	○
伴奏スタイル	プリセット	スタイル数	130
		フィンガリング	マルチフィンガリング
		スタイルコントロール	自動伴奏オン/オフ (ACMP ON/OFF) シンクロスタート スタート/ストップ イントロ/エンディング/rit. メイン/フィルイン
	その他特長	ワンタッチセッティング (OTS)	○
	プリセット	内蔵曲数	112(コードスタディー-12含む)
録音/再生 * オーディオ ファイル非対応	録音	曲数	1
		トラック数	1
		データ容量	約300音符
		録音フォーマット	オリジナルフォーマット

ファンクション	レッスン		[1.LISTEN&LEARN](お手本) [2.TIMING](タイミング) [3.WAITING](マイペース) [A⇔B] (A-Bリピート)
		メトロノーム	○
	全体設定	テンポ	11~280
		トランスポーズ	-12~0~+12
		チューニング	427.0~440.0~453.0Hz(約0.2Hz単位)
		デュオ	○
その他	ピアノボタン	○	
接続端子	DC IN	12V	
	ヘッドホン/外部出力	ステレオ標準フォーン端子 (ヘッドホン/外部出力兼用) × 1	
	サステインペダル	○	
	AUX IN	ステレオミニ端子 × 1	
音響	アンプ出力	2.5W + 2.5W	
	スピーカー	12cm × 2	
電源部	電源	電源アダプター	PA-3C(またはヤマハ推奨の同等品)
		電池	単3形(1.5V)のアルカリ乾電池または マンガン乾電池6本、もしくは単3形(1.2V)の 充電式ニッケル水素電池(充電電池)6本
	消費電力	12W(電源アダプター PA-3C使用時)	
	電池寿命	アルカリ乾電池で約14時間、 充電式ニッケル水素電池で約12時間	
	オートパワーオフ	○	
付属品	取扱説明書(本書)、 電源アダプター (PA-3Cまたはヤマハ推奨の同等品)、 ソングブック、保証書、譜面立て、 製品登録のご案内		
別売品	電源アダプター (PA-3Cまたはヤマハ推奨の同等品)、 ソフトケース(SCC-51/SCC-52)、 キーボードスタンド(L-2L/L-2C)、 ヘッドホン(HPH-50/HPH-100/HPH-150)、 フットスイッチ(FC4A/FC5)		

*本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

索引



A			
A-Bリピート.....	20		
AUTO FILL (オートフィル).....	26		
B			
BGM.....	19		
E			
ENDING (エンディング).....	26		
EQ.....	29		
I			
INTRO (イントロ).....	26		
L			
LISTEN & LEARN (お手本).....	22		
M			
MAIN (メイン).....	26		
MASTER VOLUME (全体音量).....	13		
P			
PORTABLE GRAND (グラランドピアノ)....	15		
T			
TIMING (タイミング).....	22		
W			
WAITING (マイペース).....	22		
ア			
アフターサービス.....	43		
イ			
移調 → トランスポーズ.....	32		
ウ			
ウルトラワイドステレオ.....	16		
エ			
エフェクト.....	16, 33		
エフェクトタイプリスト.....	40		
オ			
オートパワーオフ.....	13, 33		
音符表示.....	14		
音量 (スタイル).....	26		
音量 (ソング).....	19		
音量 (ボイス).....	33		
カ			
楽器音 (ボイス).....	15		
画面表示.....	14		
乾電池 → 電池.....	12		
キ			
機能設定.....	32		
機能リスト.....	32		
ク			
くり返し再生.....	20		
ケ			
鍵盤表示.....	14		
コ			
コード.....	14, 27		
コードスタディ.....	24		
コーラス.....	16		
コーラスタイプリスト.....	40		
困ったときは.....	34		
サ			
採点.....	23		
サステイン.....	31		
サステイン (パネルサステイン).....	16		
シ			
自動伴奏.....	25		
自動伴奏鍵域.....	25		
修理.....	43		
仕様.....	41		
小節.....	14		
初期化.....	31		
シンクロスタート.....	25		
ス			
スタイル.....	25		
スタイル音量.....	26, 32		
スタイルリスト.....	39		
スプリットポイント.....	25, 32		
ソ			
ソング.....	19		
ソング音量.....	19, 32		
ソングリスト.....	38		
タ			
タッチレスポンス.....	16		
タップ.....	20		
チ			
チューニング.....	32		
テ			
デモグループ.....	33		
デモソング.....	19		
デュオ.....	17		
電源.....	12		
電源アダプター.....	12		
電池.....	12		
テンポ.....	15, 20		
ト			
トランスポーズ.....	32		
ハ			
パート.....	21		
バックアップ.....	31		
バックアップデータ.....	31		
バッテリー (電池).....	33		
パネルサステイン.....	16		
早送り.....	20		
早戻し.....	20		
ヒ			
ビート.....	14		
拍子.....	15, 33		
フ			
フットスイッチ (ペダル).....	31		
譜面立て.....	2		
フレーズ録音.....	28		
プレイモード.....	33		
ヘ			
ペダル (フットスイッチ).....	31		
ヘッドホン.....	30		
ホ			
ボイス (楽器音).....	15		
ボイスリスト.....	35		
保証.....	43		
マ			
マスター EQ.....	29		
マスター EQタイプ.....	29		
メ			
メトロノーム.....	15		
メトロノーム音量.....	15, 33		
ユ			
ユアテンポ.....	33		
ラ			
ランダム.....	20		
リ			
リズム.....	25		
リバーブ.....	16		
リバーブタイプリスト.....	40		
レ			
レッスン.....	22		
ロ			
録音.....	28		
ワ			
ワンタッチセッティング.....	15		

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

●保証書

本製品には保証書が付いています。
「販売店印・お買い上げ日」が記入されている場合は、記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。記入されていない場合は、購入を証明する書類(領収書、納品書など)とあわせて、大切に保管してください。

●保証期間

保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。
有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

有寿命部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、
鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパッドなど

●補修性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

●修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターへご連絡ください。

●製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、品番などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆修理に関するお問い合わせ

修理ご相談センター

フリーダイヤル



0120-149-808

携帯電話、
IP電話からは

050-3852-4106

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00
(祝日、センター指定の休日を除く)

FAX 東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海) 03-5762-2125
西日本(北陸/近畿/中国/四国/九州/沖縄) 06-6649-9340

◆修理品お持込み窓口

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00
(祝日、センター指定の休日を除く)

* お電話は、修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006
東京都大田区平和島2丁目1-1 JMT京浜E棟A-5F
FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011
大阪市浪速区難波中1丁目13-17 ナンバ辻本ビル7F
FAX 06-6649-9340

※名称、住所、電話番号、営業時間などは変更になる場合があります。

本製品の仕様や取り扱いに関するお問い合わせ

お買い上げの販売店、または下記のお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

お客様コミュニケーションセンター 電子ピアノ・キーボードご相談窓口

フリーダイヤル



0120-139-808

携帯電話、
IP電話からは

050-3852-4079

受付：月曜日～金曜日 10:00～17:00（祝日、センター指定の休日を除く）

<https://jp.yamaha.com/support/>



ヤマハ楽器音響製品お客様サポート
LINE公式アカウント

ウェブサイトのご案内

ヤマハ株式会社のホームページ	https://jp.yamaha.com/
ヤマハ エレクトーン・キーボードサイト	https://jp.yamaha.com/kbd/
ヤマハ サポート・お問い合わせ	https://jp.yamaha.com/support/
ヤマハミュージックデータショップ	https://yamhamusicdata.jp/

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町10-1

※ 都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

© 2019 Yamaha Corporation
2025年3月発行
KSES-D0



VDAQ9300